

## 研究業績一覧

作成日 2018.03.27

作成者 奥貫圭一

### I. 学術書

#### (1) 分担執筆

1. 奥貫圭一 (2001) 都市解析と GIS. 高阪宏行・村山祐司編『GIS—地理学への貢献』古今書院(東京), 300-315
2. 奥貫圭一 (2005) GIS の構成と構造. 村山祐司編『シリーズ〈人文地理学〉1 地理情報システム』朝倉書店(東京), 31-54
3. Okabe, A., Okunuki, K. and Shiode, S. (2005) A toolbox for spatial analysis on a network. Okabe, A. (eds.) *GIS-based Studies in the Humanities and Social Sciences*. Boca Raton: CRC Press, 139-152
4. 奥貫圭一・塩出志乃・岡部篤行 (2006) ネットワーク空間分析ソフトウェア SANET. 村山祐司・岡部篤行編『GIS で空間分析』古今書院(東京), 142-182
5. 奥貫圭一・岡本耕平 (2008) 可能性を広げる地図. 村越 真・若林芳樹編『GIS と空間認知 進化する地図の科学』古今書院(東京), 193-206
6. Okunuki, K. (2009) Hierarchy of system of urban facilities: focusing on the relationship between administrative systems and population agglomerations. Asami, Y., Sadahiro, Y. and Ishikawa, T. (eds.) *New Frontiers in Urban Analysis*. Boca Raton: CRC Press, 235-246
7. 奥貫圭一 (2014) GIS 名古屋都市図. 溝口常俊編『古地図で楽しむなごや今昔』風媒社(名古屋), 44-46
8. 奥貫圭一 (2015) 領域分析. 浅見泰司・矢野桂司・貞広幸雄・湯田ミノリ編『地理情報科学 GIS スタンダード』古今書院(東京), 79-83
9. 奥貫圭一 (2018) ネットワーク空間解析. 貞広幸雄, 石井儀光, 山田育穂編『空間解析入門』朝倉書店(東京), (出版予定)

### II. 原著論文

#### (1) 査読付き

10. 奥貫圭一 (1991) 行政の階層構造とその従業者数の関係に関する考察. 都市計画論文集(日本都市計画学会) 26, 553-558
11. 奥貫圭一・岡部篤行 (1995) 包含階層構造を持つ施設システムの最適化. 都市計画論文集(日本都市計画学会) 30, 565-570
12. 奥貫圭一・岡部篤行 (1996) 空間相互作用モデルを用いた道路ネットワークにおける店舗売上げ推定法. 都市計画論文集(日本都市計画学会) 31, 49-54
13. 奥貫圭一・岡部篤行 (1997) 売上げ最大化によるネットワーク上の店舗立地最適化手法. GIS—理論と応用(地理情報システム学会) 5(2), 11-18
14. Okabe, A., Okunuki, K. and Suzuki, T. (1998) A computational method for

- optimizing the hierarchy and spatial configuration of successively inclusive facilities on a continuous plane. *Location Science* 5(4), 255-268
15. Okabe, A. and Okunuki, K. (2001) A computational method for estimating the demand of retail stores on a street network using GIS. *Transactions in GIS* 5(3), 209-220
  16. Okunuki, K. (2001) Urban analysis with GIS. *GeoJournal* 52(3), 181-188
  17. Okunuki, K. and Okabe, A. (2002) Solving the Huff-based competitive location model on a network with link-based demand. *Annals of Operations Research* 111, 239-252
  18. 谷 謙二・佐藤俊樹・岡本耕平・奥貫圭一・大西宏治 (2002) 中学校における地理教育用 GIS の開発と教育実践. GIS—理論と応用(地理情報システム学会) 10(2), 69-77
  19. 高井寿文・奥貫圭一・岡本耕平 (2004) 手描き地図を用いた空間認知研究へのGISの適用. 地図(日本地図学会) 41(4), 27-36
  20. Okamoto, K., Okunuki, K. and Takai, T. (2005) Sketch map analysis using GIS buffer operation. *Spatial Cognition IV, Springer Computer Science Series LNAI* 3343-0237, 227-244
  21. Okabe, A., Okunuki, K. and Shiode, S (2006) SANET: a toolbox for spatial analysis on a network. *Geographical Analysis* 38, 57-66
  22. 森田匡俊・奥貫圭一 (2006) ネットワーク上のK関数法における境界効果に関する考察. 地理学評論(日本地理学会) 79, 82-96
  23. Okabe, A., Okunuki, K. and Shiode, S. (2006) The SANET toolbox: new methods for network spatial analysis. *Transactions in GIS* 10(4), 535-550
  24. 奥貫圭一 (2008) GISを活用した空間分析. 地学雑誌 117(2), 324-340
  25. 森田匡俊・奥貫圭一・塩出志乃 (2012) 老年人口密度を考慮した高齢化率の空間的分布パターンに関する研究. 地理学評論(日本地理学会) 85, 608-617
  26. 森田匡俊・鈴木克哉・奥貫圭一 (2014) 日本の主要都市における直線距離と道路距離との比に関する実証的研究. GIS—理論と応用(地理情報システム学会) 22(1), 1-7
  27. Shiode, N., Morita, M., Shiode, S. and Okunuki, K.(2014) Urban and rural geographies of aging: a local spatial correlation analysis of aging population measures. *Urban Geography* 35(4), 608-628
  28. 奥貫圭一 (2016) 建物周り建ぺい率の算出～基盤地図情報を活用して. 都市計画論文集(日本都市計画学会) 51(3), 493 - 500
  29. 奥貫圭一 (2017) 建物周り建ぺい率による密集領域の抽出～基盤地図情報を活用して. 都市計画論文集(日本都市計画学会) 52(3), 1312 - 1319.

(2) 査読なし

30. 岡部篤行・奥貫圭一 (1993) 空間階層の分析と最適化. RAMP シンポジウム論文集(日本オペレーションズ・リサーチ学会) 5, 130-140
31. 奥貫圭一・岡部篤行・足達俊雅・上山敬之・相良新一郎・東海林洋介・山田育穂・和美宗一郎 (1996) インターネットホームページを利用した都市計画情報システムの提案. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 5, 7-12

32. 奥貫圭一・岡部篤行 (1996) 道路ネットワークにおける店舗の需要推定と立地最適化. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 5, 105-110
33. 奥貫圭一・岡部篤行・崔 鳳文・丸山貴志子・谷崎正明・嶋田 茂 (1997) モバイル GIS を用いた都市調査実習の試み. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 6, 51-56
34. 伊藤 悟・岡部篤行・奥貫圭一・東明佐久良・秋田義一・小坪宏則・大喜多祐司・後藤 寛・金子忠明・足達俊雅・エリックバーズリー (1998) 都市計画基礎調査におけるモバイル GIS利用の試み(その1). 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 7, 137-140
35. 後藤 寛・伊藤 悟・岡部篤行・奥貫圭一・東明佐久良・秋田義一・小坪宏則・大喜多祐司・金子忠明・足達俊雅・エリックバーズリー (1998) 都市計画基礎調査におけるモバイル GIS利用の試み(その2). 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 7, 293-296
36. 岡部篤行・佐藤 隆・大方潤一郎・奥貫圭一 (1999) インターネット上の双方向操作型都市計画支援3Dシステムに関する基礎的研究. 東京大学空間情報科学研究センターディスカッションペーパーシリーズ 12
37. Okabe, A., Okunuki, K., Sagara, S., Kamachi, T. and Shiode, N. (1999) VIRTUAL RYOANJI PROJECT: Implementing a computer-assisted collaborative working environment of a virtual temple garden. Discussion Paper 13, Center for Spatial Information Science, University of Tokyo
38. 貞広幸雄, 奥貫圭一(1999) 空間データクリアリングハウス構築のためのメタデータ記述法. 東京大学空間情報科学研究センターディスカッションペーパーシリーズ 21
39. 奥貫圭一, チャーチ, R., マーストン, J. (1999) ネットワークとグリッドの混在データのもとでの最適経路案内システムに関する研究. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 8, 135-138
40. 坂上寛之, 海津正倫, 奥貫圭一 (2000) ベトナム中部における水害ハザードマップ作成の試みーリモートセンシングと GIS の活用ー. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 9, 15-18
41. 西川俊之, 奥貫圭一, 貞広幸雄 (2000) CAD を用いた住民間合意形成支援システムの開発. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 9, 187-190
42. 倉田陽平, 奥貫圭一, 貞広幸雄 (2000) 個人嗜好に応じた観光コース自動作成システムの開発. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 9, 199-202
43. 奥貫圭一, 伊藤 悟, 岡部篤行, 金子忠明, 後藤 寛, 東明佐久良, 立松岳史, 汐崎 剛 (2000) 野外調査実習のための携帯型 GIS の開発. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 9, 263-268
44. 森田匡俊, 奥貫圭一, 岡部篤行 (2001) GISを用いたネットワーク上の小売店舗商圈分析ー愛知県日進市を事例にー. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 10, 45-50
45. 奥貫圭一, 大西宏治, 伊藤 悟, 岡本耕平, 佐藤俊樹 (2003) わが国の学校教育における GIS 活用の現状と課題. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会)

12, 271-274

46. 岡本耕平, 奥貫圭一, 森田匡俊 (2004) ハンディキャップを考慮した経路情報提供の試み. 名古屋大学文学部研究論集, 史学 50, 71-84
47. 奥貫圭一, 塩出志乃, 岡部篤行, 岡野京子, 金子忠明 (2005) ネットワーク上の空間分析のためのソフトウェア SANET 第3版の開発. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 14, 113-116
48. 伊藤 悟, 湯田ミノリ, 奥貫圭一, 木津吉永, 川崎智央, 立松岳史 (2005) 携帯電話を利用したモバイル GIS の開発 - 学校教育を意識して -. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 14, 205-208
49. 奥貫圭一 (2005) 空間分析のための GIS ソフト - FreeSAT, SAINF, SANET -. ESTRERA(財団法人 統計情報研究開発センター), 140, 12-21
50. 奥貫圭一, 今井美緒, 森田匡俊 (2006) 直線距離と道路距離のハフモデルへの適用比較. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 15, 103-106
51. 権田与志道, 奥貫圭一 (2008) 近接性分析にもとづくバス交通のサービス水準に関する考察. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 17, 363-368
52. 奥貫圭一, 塩出志乃, 岡部篤行 (2008) ネットワークデータを用いた空間分析のためのウェブ教材の開発. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 17, 519-522
53. 佐藤俊明, 奥貫圭一, 岡部篤行, 岡部佳世, 塩出志乃 (2009) ネットワーク空間上における空間的解析ツールの開発. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 18, 493-496
54. 奥貫圭一, 溝口常俊, 森田匡俊, 服部亜由未, 平松晃一 (2013) 明治初期の村ポリゴンデータの作成とその分析. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 22, B-1-5(CD-ROM)
55. 奥貫圭一, 溝口常俊, 森田匡俊, 服部亜由未, 平松晃一 (2014) 近世尾張の村ポリゴンデータ構築と田畑分布. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 23, C-6-2(CD-ROM)
56. 服部亜由未, 奥貫圭一, 溝口常俊, 森田匡俊, 平松晃一 (2014) 明治初期の町村域 GIS データ作成 - 長野県を事例として -. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 23, C-7-4(CD-ROM)
57. 奥貫圭一, 岡本耕平, 王 徳 (2015) 小地域データによる上海市の年齢別人口分布の考察. 名古屋大学文学部研究論集, 史学 61, 75-89(<http://hdl.handle.net/2237/21569>)
58. 佐藤俊明, 岡部篤行, 奥貫圭一, 岡部佳世 (2015) ネットワーク空間上解析ツールの開発 - SANET スタンドアロン版 -. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 24, C-1-3 (CD-ROM)
59. 奥貫圭一 (2015) 地理情報科学の授業実践 - QGIS を用いて. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 24, F-4-1 (CD-ROM)
60. 児玉 史, 奥貫圭一 (2016) 次世代歴史 GIS へ向けた空間分析手法の検討 - 近世高知城下町を事例に -. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 25, D-5-1 (CD-ROM)

61. 服田帆乃香, 奥貫圭一 (2017) 高速道路インターチェンジの利用圏の分析—一般化ボロノイ図を応用して—. 地理情報システム学会講演論文集(地理情報システム学会) 26, D-3-3 (CD-ROM)

### III. 国際学会プロシーディングス

62. Okunuki, K., Itoh, S. Okabe, A., Goto, Y., Kaneko, T., Shinoaki, S., Akita, Y., Kotsubo, H., Okita, Y., Tatematsu, T. and Shiozaki, G. (2001) A mobile GIS for fieldwork, *Abstracts of Symposium on Asia GIS 2001 20-1* (CD-ROM)
63. Itoh, S., Yuda, M., Okunuki, K., Kizu, Y., Kawasaki, T. and Tatematsu, T. (2005) The development of cellular phone GIS for urban survey. Murayama, Y. and Du, G. (eds.) *Cities in Global Perspective: Diversity and Transition*, IGU Urban Commission, 620-626
64. Okunuki, K. (2007), Spatial analysis on a network using SANET GIS version 3 software, *Proceedings of Historical maps and GIS*, 1-5

### IV. その他の出版物

#### (1) 口頭発表(国内学会要録集に掲載のあるもの)

65. 奥貫圭一, 岡部篤行 (1997) ハブモデル選択行動をする場合の連続ネットワーク上最適立地問題. 日本応用数理学会 1997 年度会講演予稿集, 64-65
66. 貞広幸雄, 奥貫圭一 (1998) 東京大学工学部都市工学科都市計画コースの学部教育における GIS 利用. 全国測量技術大会'98 資料集, 56-61
67. 奥貫圭一, 岡部篤行, 後藤 寛, 金子忠明, 伊藤 悟, 東明佐久良, 秋田義一, 小坪宏則, 大喜多祐司 (1999) 土地利用調査のための携帯型 GIS の開発. 日本地理学会 1999 年度秋季学術大会発表予稿集, 78-79
68. 奥貫圭一 (2000) 都市解析と GIS. 日本地理学会 2000 年度春期学術大会発表要旨集, 86-87
69. 奥貫圭一, 佐藤 隆, 西川俊之 (2000) デザインコラボレーションの可能性. 日本建築学会シンポジウム『インターネット時代の都市計画情報交流の現状と課題』, 23-31
70. 伊藤 悟, 奥貫圭一, 岡部篤行, 金子忠明, 東明佐久良, 立松岳史, 汐崎 剛 (2001) 野外調査のための携帯型 GIS の研究(その1). 日本地理学会 2001 年度春期学術大会発表要旨集, p33
71. 東明佐久良, 立松岳史, 汐崎 剛, 奥貫圭一, 伊藤 悟, 岡部篤行, 金子忠明 (2001) 野外調査のための携帯型 GIS の研究(その2). 日本地理学会 2001 年度春期学術大会発表要旨集, p189
72. 谷 謙二, 佐藤俊樹, 岡本耕平, 奥貫圭一, 大西宏治 (2002) 中学校における地理教育用 GIS の開発と教育実践:その1. 日本地理学会 2002 年度春期学術大会発表要旨集, p87
73. 谷 謙二, 佐藤俊樹, 岡本耕平, 奥貫圭一, 大西宏治 (2002) 中学校における地理教育用 GIS の開発と教育実践:その2. 日本地理学会 2002 年度春期学術大会発表要旨集, p88.

74. 奥貫圭一, 大西宏治 (2002) 名古屋大学地理学教室における GIS 教育. 日本地理学会 2002 年度春期学術大会発表要旨集, p34
75. 岡本耕平, 奥貫圭一 (2003) ハンディキャップ集団を考慮した経路情報提供の試み. 日本地理学会 2003 年度春期学術大会発表要旨集, p16
76. 岡部篤行, 船本志乃, 奥貫圭一, 石富 妙 (2003) ネットワーク上の空間分析ツールボックス SANET. 日本地理学会 2003 年度春期学術大会発表要旨集, p97
77. 森田匡俊, 木野由利子, 奥貫圭一 (2006) 避難経路の浸水を考慮した避難所マップ作成の試み. 日本地理学会 2006 年度春期学術大会発表要旨集, p260
78. 塩出志乃, 奥貫圭一, 岡部篤行, 金子忠明, 岡野京子 (2006) ネットワーク空間分析ソフトウェアツール SANET Ver. 3 の開発研究. 東京大学空間情報科学研究センター CSIS DAYS 2006 全国共同利用研究発表大会研究アブストラクト集, p61
79. 奥貫圭一, 森田匡俊, 岡本耕平, 王 徳 (2008) 上海市人口分布をめぐる小地域統計の図化に関する考察. 東京大学空間情報科学研究センター CSIS DAYS 2008 全国共同利用研究発表大会研究アブストラクト集, p46
80. 佐藤俊明, 奥貫圭一, 岡部篤行, 岡部佳世, 塩出志乃 (2009) ネットワーク空間上解析ツールの開発. 東京大学空間情報科学研究センター CSIS DAYS 2009 全国共同利用研究発表大会研究アブストラクト集, p34
81. 奥貫圭一, 佐藤俊明, 岡部篤行, 岡部佳世, 塩出志乃 (2010) ネットワーク空間分析ソフトウェアの開発研究. 日本地理学会 2010 年度秋季学術大会発表要旨集, p28
82. 森田匡俊, 奥貫圭一, 塩出志乃 (2011) 老年人口密度を考慮した高齢化率の空間的分布パターン. 東京大学空間情報科学研究センター CSIS DAYS 2011 全国共同利用研究発表大会研究アブストラクト集, p19
83. 森田匡俊, 奥貫圭一, 谷口真祈子 (2012) 2変量ローカル・モラン統計量を用いたサービス需給の空間パターンの分析. 日本地理学会 2012 年春季学術大会発表要旨集, p64
84. 森田匡俊, 正木和明, 奥貫圭一, 落合鋭充, 小林広幸, 倉橋 奨 (2013) 大規模災害発生時の大学キャンパスにおける帰宅困難者数の推計. 日本地理学会 2013 年春期学術大会発表要旨集, p290
85. 鈴木克哉, 森田匡俊, 奥貫圭一 (2013) 直線距離と道路距離との関係に関する実証的研究. 日本地理学会 2013 年春期学術大会発表要旨集, p252
86. 森田匡俊, 落合鋭充, 奥貫圭一 (2015) 大規模災害時における安全な徒歩帰宅実現のためのグループ作成に関する研究. 日本地理学会 2015 年春期学術大会発表要旨集, p103
87. 小口 高, 村山祐司, 久保田光一, 貞広幸雄, 奥貫圭一, 山内啓之 (2015) GIS の標準コアカリキュラムと知識体系を踏まえた実習用オープン教材の開発. 日本地理学会 2015 年秋期学術大会発表要旨集, p52
88. 奥貫圭一, 服部亜由未, 溝口常俊, 森田匡俊, 平松晃一 (2015) 江戸・明治期の町村域 GIS データ構築. 東京大学空間情報科学研究センター CSIS DAYS 2015 全国共同利用研究発表大会研究アブストラクト集, p60
89. 山内啓之, 小口 高, 村山祐司, 久保田光一, 貞広幸雄, 奥貫圭一 (2016) GIS の実習用オープン教材の開発ー基本事項に関する教材の試作ー. 日本地理学会 2016 年春期

学術大会発表要旨集, p53

90. 山内啓之, 小口 高, 村山祐司, 久保田光一, 貞広幸雄, 奥貫圭一 (2016) GIS の実習用オープン教材の開発と公開. 日本地理学会 2016 年秋期学術大会発表要旨集, p52

(2) 口頭発表・ポスター発表(国内学会)

91. 児玉 史, 奥貫 圭一 (2017) ネットワークに着目した近世城下町の空間分析(ポスター発表). 地理情報システム学会第 26 回(2017 年度)学術研究発表大会, 2017 年 10 月 28 日・29 日, 宮城大学大和キャンパス.

(3) 報告書

92. 奥貫圭一 (2006) 地理情報システムから地理情報科学へ. 名古屋大学情報連携基盤センターニュース, 5(3), 231-235
93. 奥貫圭一 (2013) 明治期歴史 GIS 研究構想. 名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター報告 2012, 9-14
94. 奥貫圭一, 溝口常俊, 森田匡俊, 服部亜由未, 平松晃一 (2014) 明治初期の村ポリゴン GIS データの作成とその分析の試み. 名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター報告 2013, 148-153
95. 服部亜由未, 奥貫圭一, 溝口常俊, 森田匡俊, 平松晃一 (2014) 幕末から明治大合併までの行政界変遷データベースマップの作成. 名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター報告 2013, 154-174
96. 奥貫圭一(2016) 歴史 GIS のための旧版地図の画像ファイル化. 名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター報告 2015, 231-233
97. 奥貫圭一(2017) 歴史地理研究部門の成果と歴史 GIS の今後. 名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター報告 2016, 141-144
98. 奥貫圭一, 佐藤俊明 (2018) 歴史 GIS GIS 研究のためグラフ空間分析ツール開発. 馬場家研究報告 2017, 67-71

(4) 口頭発表・ポスター発表(国際学会)

99. Okabe, A., Okunuki, K. and Suzuki,S.(1997) A Computational Method for Optimizing the Hierarchy and Spatial Configuration of Successively Inclusive Facilities on a Plane. *The Institute for Operations Research and Management Science Spring Conference at San Diego*, May 1997.
100. Okabe, A., Okunuki, K., Sagara, S., Kamachi, T. and Shiode, N. (1998) VIRTUAL RYOANJI PROJECT: Implementing a Computer-assisted Collaborative Working Environment of a Virtual Temple Garden. *International Workshop on Groupware for Urban Planning*, Lyon, France, February 1998.
101. Okunuki, K. and Okabe, A. (1999) A computational method for optimizing the location of a store on a continuum of a network when users' choice behavior follows the Huff model. *IFORS' 99, the 15th Triennial Conference of IFORS at Beijing, China*, August 1999.
102. Okunuki, K., Itoh, S. Okabe, A., Goto, Y., Kaneko, T., Shinoaki, S., Akita, Y., Kotsubo, H., Okita, Y., Tatematsu, T. and Shiozaki, G. (2002) Mobile GIS for fieldwork in geographical studies. *Annual Meeting of the Association of*

*American Geographers*, Los Angeles, March 2002.

103. Okabe, A., Okunuki, K., Funamoto, S. and Ishitomi, T. (2002) A toolbox for spatial analysis on a network and its software. *The second International Conference on Geographical Information Science*, Boulder, Colorado, USA, September 2002.
104. Okabe, A., Okunuki, K., Shino Funamoto and Tae Ishitomi (2003): "Point pattern analysis on a network and its software package, SANET", Annual Meeting of the Association of American Geographers, New Orleans, March 5-8 (Proceedings was published in a CD-ROM).
105. Okamoto, K., Okunuki, K. and Takai, T. (2004) A Sketch Map Analysis Using GIS Buffer Operation. *International Conference of Spatial Cognition 2004*, Frauenwoerth Abbey, Frauenchiemsee Island, Lake Chiemsee, Bavaria, Germany, October 2004.
106. Morita, M. and Okunuki, K. (2007) A Study on Edge Effects in Spatial Analysis of Points on a Network. *Annual Meeting of the Association of American Geographers*, San Francisco, USA, April 2007.
107. Okunuki, K. and Mizoguchi, T. (2011) Skinner's GIS Dataset of Early Meiji Japan. *Annual Meeting of the Association of American Geographers*, Seattle, USA, April 2011.
108. Okunuki, K., Mizoguchi, T., Hiramatsu, K., Hattori, A. and Morita, M. (2013) An application of network spatial analysis to regional systems of early Meiji Japan in a historical GIS environment. *Regional Conference of the International Geographical Union*, Kyoto, August 2013.
109. Morita, M., Shiode, N., Shiode, S. and Okunuki, K. (2013) Local Spatial Correlation Analysis of the Ageing Population in Japan. *Regional Conference of the International Geographical Union*, Kyoto, August 2013.
110. Okunuki, K., Mizoguchi, T., Morita, M., Hattori, A. and Hiramatsu, K. (2013) Historical GIS of early Meiji Japan. *PNC 2013 Annual Conference and Joint Meetings*, Kyoto, December 2013.
111. Okunuki, K. and Kodama, F. (2018) Graph analysis of an old map of castle towns in early modern Japan. *Annual Meeting of the Association of American Geographers*, New Orleans, USA, April 2018. (発表予定)

(5) その他

112. 奥貫圭一 (2006) 書評『GIS による環境保全のための土地利用解析－環境情報の共有化－』(山本佳世子 著). *地理学評論* 79(11), 588-589
113. 奥貫圭一 (2012) 書評『歴史 GIS の地平 景観・環境・地域構造の復原に向けて』(HGIS 研究会 編). *GIS－理論と応用*, 20(2), 103-104
114. 奥貫圭一 (2017) 書評『参加型 GIS の理論と応用－みんなで作り・使う地理空間情報－』(若林芳樹・今井 修・瀬戸寿一・西村雄一郎 編著). *GIS－理論と応用*, 25(1), 45-46
115. 奥貫圭一 (2017) 書評『卒論・修論のための自然地理学フィールド調査』(泉 岳樹・松山

洋 著). GIS—理論と応用, 25(2), 129(73)-130(74)

## V. 受賞歴

1. 平成 22(2010)年度 地理情報システム学会 学会賞 ソフトウェア部門  
(<http://www.gisa-japan.org/awards/recipients.html>) 岡部篤行, 奥貫圭一, 佐藤俊明, 塩出志乃, 岡部佳世ほか SANET 開発チームとして 2010 年 10 月 23 日 受賞
2. 平成 27(2015)年 東京大学空間情報科学研究センター CSIS DASY 2015 優秀研究発表賞(<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/csisdays2015/awards.html>) 奥貫圭一, 服部亜由未, 溝口常俊, 森田匡俊, 平松晃一 「江戸・明治期の町村域GISデータ構築」に対して 2015 年 11 月 20 日 受賞

## VI. 研究費受領歴

### (1) 科学研究費(研究代表者分)

1. 平成 8(1996)年度 奨励研究(A) 課題番号 8780416 「都市ネットワークにおける施設配置の最適化に関する解析的研究」 1,000 千円
2. 平成 11・12(1999・2000)年度 基盤研究(C)一般 課題番号 11650624 「都市計画支援モバイル GIS に関する基礎的研究」 3,400 千円
3. 平成 14・15(2003・04)年度 若手研究(B) 課題番号 15700544 「道路網における地理的行動モデルを実装したエリアマーケティング GIS の研究」 3,500 千円
4. 平成 16～18(2005～07)年度 萌芽研究 課題番号 17651089 「社会システム工学のための空間解析ツールボックスの開発と普及に関する研究」 3,500 千円
5. 平成 19～24(2008～12)年度 基盤研究(C)(一般) 課題番号 20500893 「道路ネットワークデータを活用した都市・地域解析手法の実用に関する研究」 4,290 千円(うち直接経費 3,300 千円)
6. 平成 26～28(2014～16)年度 挑戦的萌芽研究 課題番号 26580141 「歴史 GIS 研究のためのトポロジカル空間解析手法に関する萌芽的研究」 3,510 千円(うち直接経費 2,700 千円)(予定)
7. 平成 29～31(2017～19)年度 基盤研究(C) 課題番号 17K01252 「フリーGIS データを活用した沿道密度分析ツールボックスの開発と提供」 4,420 千円(うち直接経費 3,400 千円)(予定)

### (2) 科学研究費(研究分担者分)

8. 平成 8～10(1996～98)年度 基盤研究(B)一般 課題番号 8458093 研究代表者:岡部篤行 「空間認知解析を応用したバーチャル都市の構築に関する研究」 2,700 千円
9. 平成 9～11(1997～99)年度 萌芽的研究 課題番号 9878080 研究代表者:岡部篤行 「インターネット上の双方向操作型都市計画支援 3D システムに関する基礎的研究」 2,400 千円
10. 平成 10～15(1998～2003)年度 特定領域研究(B)特定領域研究 研究代表者:貞広幸雄 課題番号 10202204 「人文社会科学のための空間データ管理・共用・伝達システムの開発」 49,600 千円
11. 平成 11・12(1999・2000)年度 基盤研究(B)一般 研究代表者:岡部篤行 課題番号 11480092 「リアルタイム・マイクロエリア・マーケティング支援システム開発の基礎的研究」 7,700 千円
12. 平成 13・14(2001・02)年度 基盤研究(C)一般 研究代表者:岡本耕平 課題番号 13837009 「日中都市世帯における就業と家事活動の調整に関する時間地理学的比較研究」 3,700 千円
13. 平成 13・14(2001・02)年度 基盤研究(C)一般 研究代表者:貞広幸雄 課題番号 13680508 「空間情報科学における時空間解析手法の開発と適用」 3,800 千円
14. 平成 13～16(2001～04)年度 基盤研究(B)一般 研究代表者:伊藤 悟 課題番号 13480015 「わが国の初等・中等教育における地理情報システムの活用に関する研究」 13,600 千円
15. 平成 14・15(2002・03)年度 基盤研究(C)一般 研究代表者:山口 靖 課題番号

- 14580101 「高分解能衛星リモートセンシングによる都市周辺の熱収支の解析」 2,900 千円
16. 平成 14～16(2002～04)年度 萌芽研究 研究代表者:伊藤 悟 課題番号 14658017 「モバイル GIS の地理教育利用に関する研究」 3,100 千円
  17. 平成 15・16(2003・04)年度 基盤研究(A)一般 研究代表者:岡部篤行 課題番号 15200060 「大学間連携分散自律型・地理データ基盤システムの開発研究」 48,100 千円(うち直接経費 37,000 千円)
  18. 平成 15・16(2003・04)年度 基盤研究(B)一般 研究代表者:若林芳樹 課題番号 15300307 「女性と高齢者を対象にした地理情報伝達と空間行動支援への GIS の応用に関する研究」 11,300 千円
  19. 平成 15～17(2003～05)年度 萌芽研究 研究代表者:海津正倫 課題番号 15652044 「地理情報システムを利用した都市域大縮尺水害ハザードマップ試作に関する研究」 3,200 千円
  20. 平成 15～17(2003～05)年度 基盤研究(B)一般 研究代表者:貞広幸雄 課題番号 15310112 「空間多変量解析手法の開発と空間情報科学における適用」 14,900 千円
  21. 平成 15～18(2003～06)年度 基盤研究(B)一般 研究代表者:海津正倫 課題番号 15300302 「沖積低地の微地形形成と地形環境動態に関する研究」 16,400 千円
  22. 平成 16～19(2004～07)年度 基盤研究(B)一般 研究代表者:伊藤 悟 課題番号 16300295 「学校教育・社会教育における地理情報システムの利用に関する研究」 15,760 千円(うち直接経費 14,800 千円)
  23. 平成 17～19(2005～07)年度 萌芽研究 研究代表者:伊藤 悟 課題番号 17650278 「携帯電話を用いたモバイル・インターネット GIS の地理教育への適用研究」 2,800 千円
  24. 平成 17～20(2005～08)年度 基盤研究(A)一般 研究代表者:村山祐司 課題番号 17202023 「地理情報科学の教授法の確立-大学でいかに効果的に GIS を教えるか-」 49,530 千円(うち直接経費 38,100 千円)
  25. 平成 18～21(2006～09)年度 基盤研究(B)一般 研究代表者:貞広幸雄 課題番号 18310102 「時空間解析手法の一般化と空間情報科学における適用」 18,040 千円(うち直接経費 15,100 千円)
  26. 平成 19～21(2007～09)年度 萌芽研究(挑戦的萌芽研究) 研究代表者:岡本耕平 課題番号 19650257 「GISを利用した多様な住民向けのハザードマップ作成システムの検討」 3,200 千円
  27. 平成 19～22(2007～10)年度 基盤研究(B)一般 研究代表者:海津正倫 課題番号 19300308 「沖積低地の地形環境ダイナミクスに関する研究」 19,500 千円(うち直接経費 15,000 千円)
  28. 平成 21～23(2009～11)年度 基盤研究(B)一般 研究代表者:貞広幸雄 課題番号 21310090 「複数の空間分布間の変換関係を分析する手法の開発」 19,630 千円(うち直接経費 15,100 千円)
  29. 平成 23～25(2011～13)年度(予定) 挑戦的萌芽研究 研究代表者:岡本耕平 課題番号 23652181 「小地域データを用いた上海市社会地図の作成と可変地区単位問題の検討」 3,510 千円(うち直接経費 2,700 千円)

30. 平成27～31(2015～19)年度 基盤研究(A) 研究代表者:小口 高 課題番号15H01782  
「GIS の標準コアカリキュラムと知識体系を踏まえた実習用オープン教材の開発」16,120  
千円(うち直接経費 12,400 千円)
31. 平成 28～32(2016～20)年度 基盤研究(A) 研究代表者:浅見泰司 課題番号  
16H01830 「時空間情報の次世代分析ツールボックスの開発と応用」39,650 千円(うち  
直接経費 30,500 千円)

(3) その他

1. 平成 13(2002)年度 福武学術文化振興財団研究助成「中学校地理教育用 GIS ソフトの  
開発と実験授業の実施」900 千円
2. 平成 14(2003)年度 福武学術文化振興財団学会・研究集会助成「地理情報システム(G  
IS)教育シンポジウム」200 千円
3. 平成 14(2003)年度 財団法人大幸財団学会等開催助成 NO.1105 「国際シンポジウム  
『初等・中等教育における地理情報システム(GIS)の可能性』」180 千円

以下余白